

2023（令和5）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会
なごみの里

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）基本方針

①生産活動の充実と地域との連携をしていく

②心身の健康・安全を保持する

③利用者の主体性を培う

④利用者を中心に保護者・職員（施設）との信頼を深める

- ・作業や地域のイベント参加を通して、地域との連携や障がい理解の啓発を行った。
- ・健康診断をきっかけに心身の健康・安全への取り組みを行い、必要に応じて通院に繋がった。
- ・面談や個別支援を実践する中でニーズを把握し、利用者、保護者、関係機関等と連携し提案を行い、利用者の主体性を培う支援を行った。

（3）中期目標（令和4年度～6年度）

自主生産品作業をなごみの里の主力の一つとし、自主生産品の充実や作業全般の効率化を図り、工賃の向上を目指す。地域の福祉活動や行事に参加し、また利用者・職員が地域との繋がりの中で活動できるようにする。

- ・各作業の進行状況や納期等、職員間で情報共有を行い作業の効率化に努めた。
- ・自主製品の販売を中心に、利用者と共に地域の福祉活動へ参加、企業訪問等を行い、地域との繋がりの中で活動することができた。

2. 施設概要

（1）施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）

（2）利用定員 40名（現利用者数：41名）

(3) 開所年月 平成21年4月

(4) 施設規模 敷地面積 433.24㎡ 延床面積 494.9㎡
建物構造 鉄骨造二階建て 賃貸区分 民間より賃貸

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名
支援員 (常勤職員)	4名
保育士 (常勤職員)	0名
調理員 (常勤職員)	0名
事務員 (非常勤職員)	1名
支援員 (非常勤職員)	8名
保育士 (非常勤職員)	0名
調理員 (非常勤職員)	0名
看護師 (非常勤職員)	0名
理学療法士 (非常勤職員)	1名
作業療法士 (非常勤職員)	0名
合 計	16名

(2) 嘱託

医師 (4回/年)	1名
看護師 (0回/年)	0名
理学療法士 (1回/月)	0名
作業療法士 (0回/月)	0名
合 計	1名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1	2	3	4	未定	合計
愛の手帳	0名	13名	15名	13名	0名	41名
身体障害者手帳	2名					2名
精神保健手帳	0名					0名

※身障手帳・精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成 (平均年齢41.1歳)

	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合計
男	0名	4名	3名	7名	5名	2名	21名
女	2名	4名	4名	3名	5名	2名	20名
合計	2名	8名	7名	10名	10名	4名	41名

最低年齢 男…20歳 女…19歳 最高年齢 男…76歳 女…78歳
 平均年齢 男…37.1歳 女…38.3歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	国分寺市	所沢市	中野区	東久留米市	清瀬市	合計
36名	1名	1名	1名	1名	1名	41名

(4) 障害支援区分

区分	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	8名	9名	9名	3名	0名	12名	41名

(5) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所者	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
月末数	44	44	43	43	43	43	43	43	43	41	41	41	512
延べ日数	880	920	880	920	920	880	920	880	920	920	840	920	10,800
延べ人数	840	836	832	822	808	785	836	782	765	737	665	806	9,514
出勤率(定員)	95.5	90.9	94.5	89.3	87.8	89.2	90.9	88.9	83.2	80.1	79.2	87.6	88.1
出勤率(現員)	86.8	82.6	87.9	83.1	81.7	83	84.5	82.7	77.4	78.2	77.2	85.5	82.6

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:30～	登所・職員打ち合わせ・朝礼
9:00～11:40	作業・休憩
11:50～13:00	昼食・昼休み
13:00～15:10	作業・ラジオ体操
15:10～15:30	清掃・終礼
15:30～	帰宅(送迎)

(2) 土曜日

8:30～	登所・職員打ち合わせ・朝礼
9:00～11:00	作業・休憩
11:00～11:15	掃除・終礼
11:15～12:00	昼食
12:00～	帰宅(送迎)

6. 重点目標

(1) 生産活動と地域との連携

- ①自主生産品の各種チップスが、東京都商品開発等業務改善支援モデル事業となり、製造環境の見直し、価格変更、包材の刷新、種類の見直しを実施した。地域イベントに参加し、地域交流を図ると共に更に販路を開拓していく。

・地域のスーパー(イトーヨーカドー、島忠)での販売や飯能市のメッツァビレッジでの販売など、新たな販路を開拓することができた。

②地域の自治会や懇談会に参加し、施設のニーズを把握し、地域との連携を図る。

・地域の小学校のイベントでの販売を通し、障害理解等を含めた施設の周知と地域連携を行うことができた。

③作業種目

	作業種	作業内容	受注・納入先	稼働日	参加	4年度収入	5年度収入
外 作 業	回収	古紙回収	地域各所他	随時	2名	2,843,103	2,641,280
	公園 清掃	中央公園・浅間山	西武・武蔵野パートナ ーズ	月6 回	7名	1,094,606	1,430,939
	水やり	水やり、草取り	白十字ホーム	随時	3名	205,684	224,112
室 内 作 業	受注 作業	新光	新光(株)	随時	全員	307,380	352,188
		ショッピングバッ グ製作	(有)鈴木紙工	随時	全員	512,660	489,105
		箱組み立て	(有)小沢加工所	随時	全員	85,672	0
		チラシ配布	その他	適宜	7名	0	36,800
		封入,シール貼り	平成の里	随時	全員	357,778	142,877
		段ボール組み立て	(株)カマタ	随時	全員	669,910	927,183
		耐震金具組み立て	(株)ティカトウ	随時	全員	1,388,786	442,585
自主 製品	チップス各種	市役所・富士見公民館 各イベント	週2～ 3回	8名	673,700	703,226	
	その他の事業	バザー等	適宜	全員	26,520	7,300	
			合計			8,165,799	7,397,595

工賃支払実績

(単位：円)

	総額	平均額	最高額	最低額	パート・アルバイト
4月	739,215	18,030	35,400	1,505	56,108
5月	440,040	10,233	23,640	1,140	56,628
6月	370,240	8,610	19,710	1,140	53,964
賞与	111,000	2,523	4,000	1,000	
7月	340,000	8,095	15,680	1,260	66,108
8月	430,010	10,488	22,500	2,870	53,964
9月	430,010	10,488	22,940	2,480	56,128
10月	400,000	9,756	21,000	2,590	50,852
11月	420,000	10,000	21,130	1,160	58,382
12月	400,020	9,524	20,110	1,330	76,304
賞与	172,000	4,095	7,000	1,000	
1月	420,020	10,244	22,290	1,790	64,272
2月	450,000	11,250	25,120	3,190	56,272
3月	420,000	10,500	23,130	2,690	40,950
合計	5,542,555	133,836	283,650	25,145	689,932
平均	461,879	11,153	23,637	2,095	57,494

(2) 健康増進・衛生

- ①理学療法士による監修の元、エアロバイク等の健康機器を利用した運動プログラムを提供し、成人病（肥満）やケガの予防・機能維持を図る。
- ②ダンス講師による体操を定期的（10回/年）に実施し、運動の動機付けをする。
 - ・PT：4/8 5/20 6/15 7/22 8/31 10/24 11/25 12/15 1/20 2/21 3/23
 - ・リズム体操：4/14 5/12 6/9 7/14 8/18 9/8 10/13 11/10 12/8 1/12 2/9 3/8
- ③衛生面の充実を図る為、業者による定期清掃（空調機器や床等）を実施する。
 - ・施設床面：2/25、1階エアコン：3/3、厨房換気扇：3/9
- ④歯科健診を実施し、必要に応じて歯石除去の通院を促す。耳鼻科や眼科の定期通院も促す。
 - ・歯科健診（なごみの里にて・折笠歯科医院）1/18
 - ・歯石除去（折笠歯科医院）3/26
- ⑤毎月の体重測定等、健康状態を把握し、保護者や医療機関とも連携し支援する。
 - ・健康診断（なごみの里にてあきつの園と合同実施）白十字病院検診車 4/11
 - ・婦人科健診（子宮検診・白十字病院）6/29 7/6
 - ・インフルエンザ予防接種（白十字病院から出向）11/20
 - ・体重測定：月に一回測定し、年間の体重のデータをまとめた。結果を各家庭に配布し、健康維持の意識づけを行った。

(3) 安全・事故防止

- ①利用者の安全面の確保から施設内の環境整備や備品等の買い替え等を実施する。
- ②日々、ヒヤリハットの報告を徹底し、交通事故の起き易い場所や時間帯を把握する。
- ③車両管理担当者を中心に車両の不良・部品の消耗等を確認し、事故を防止する。
 - ・施設倉庫内を定期的に整理し、作業室内の荷物を倉庫に移動し施設内の転倒や怪我の防止をした。
 - ・車にバックモニターを設置。毎日の職員ミーティングでヒヤリハットの報告を行い、事故リスクの防止に努めた。

(4) 利用者個々に合わせた支援の充実

- ①各種行事の場面や日課を通して、買い物・身だしなみ・清掃・公共交通機関の利用等地域生活に必要なスキルを利用者個々に合わせて獲得できるように支援する。
 - ・グループ外出等を通して公共交通機関の利用や買い物をし、必要なスキルを獲得できるように支援を行った。
- ②利用者を取りまく支援者、関係機関（社会資源）を活用し、相互に連携しながら円滑な支援ができるようにする。
 - ・医療機関や訪問看護、相談支援事業所等と相互に連携しながら、日常生活の支援や通所を促す取り組みを行った。
- ③サービス等利用計画を参照し、家族状況等も考慮して、利用者のニーズを探り、一人一人に寄り添った個別支援計画を作成し、支援していく。
 - ・個別面談等を通して、利用者・家族の意向等を確認し、個別支援計画を作成し支援を行うことができた。

(5) 給食

- ①利用者の健康に配慮した食事提供等、給食会議を通して検討していく。
- ②施設の行事に合わせたメニューや装飾・演出等を工夫し、楽しめる食事の場を提供する。

③感染症予防をし、利用者・職員の安全に配慮し、食堂の環境を整える。

④栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

	熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	加シム	ビタミン		
						B1	B2	C
計画	804Kcal	29.0g	127.8g	23.8g	258mg	0.47mg	0.53mg	38.0mg
実績	629Kcal	23.6g	92.3g	19.5g	104.8mg	0.30mg	0.30mg	34.4mg

- ・定期的に会議を行い食事内容等について検討した。
- ・感染対策で、前年度より引き続き密にならないよう交代制での食事を行った。

(6) 作業

- ①作業に関わる補助器具も導入し、受託事業の効率化を図る。
- ②受託事業先の信頼を得られるよう努め、利用者が個々の力を発揮できる場面を提供する。

③作業種目

作業種目	内 容
受託事業	ショッピングバック加工、段ボール仕切り組み、耐震部品組み立て他
清掃事業	中央公園、浅間山公園、白十字ホーム水やり・除草作業
自主生産品事業	食品加工（なごみチップス）
回収等事業	資源回収、（新聞・雑誌・段ボール・古着・アルミ缶）
その他	自主生産品販売、段ボールの箱詰め（新光）等の出向作業

- ・水やりでは、作業時の状況（投棄されていた物など）を報告し、信頼を得られるよう努めた。
- ・新光の段ボールの仕切り組み立てを出向作業で行った。

(7) 自治会活動

- ①行事や利用者に関わる日課中の事柄に対し、利用者が意見や希望を伝えられる場を提供する。
- ②プロジェクターやタブレットを使用し、利用者に必要な情報を分かり易く伝えていく。
 - ・必要事項を利用者に分かりやすく伝えるために、実物の提示やタブレットを活用するなどして、視覚的に分かりやすく説明を行った。

(8) 行事

①年間行事

日程	内容	場所	目的	人数
6月5,14, 20,26日	防災館	立川防災館	災害時を体験し、行動を学ぶ	50名
7月7日	グループ外出①	西武園ゆうえんち	自立生活および社会生活を促す	11名
8月25日	夏祭り	なごみの里	夏らしさを体験（職員、利用者のみ）	58名
10月4日	グループ外出②	羽田空港	社会参加の促進を図る	13名
10月25日	グループ外出③	立川昭和記念公園	自立生活および社会生活を促す	11名
11月3日	大運動会	八坂小学校	体を動かし、他施設との交流を図る	40名
11月15日	日帰りバス旅行	山中湖	利用者と職員で親睦を図る	45名
12月22日	クリスマス会	なごみの里	季節行事を楽しむ	57名
1月14日	成人を祝う会	なごみの里	利用者の成人と人生の節目を祝う	38名
1月26日	グループ外出④	ふじやま温泉	集団行動や社会マナーを学ぶ	12名

3月27日	炊き出し訓練	なごみの里	炊き出し体験をし防災意識を高める	50名
-------	--------	-------	------------------	-----

②クラブ活動

種目	主な活動場所	実施予定日
カラオケ	カラオケバンバン等	第1・第4火曜日
ボウリング	久米川ボウル	第2・第3火曜日

クラブ活動 4回/年 リズム体操 10回/年

- ・ボウリング：7/3 7/18 9/5 9/19 1/24 1/29 2/26 2/28
- ・カラオケ：7/11 7/24 9/12 9/25 12/5 1/22 3/5 3/11
- ・創作活動：7/13 9/28 12/15 3/8

7. 防災訓練

- ①災害時の利用者の安全を図る為、防災計画に基づき月1回の防災訓練を行う。
- ②年1回防災館へ行き、様々な体験を通じて、災害時に備える意識を養う。
- ③地域・関連機関と連携し、炊き出し訓練を実施し、地域にも防災の意識を啓発する。
- ④事業継続計画（BCP）ガイドラインの見直しと法人全体での訓練の実施、研修の実施を行う。又、定期的に会議を開催する。
 - ・月1回、地震・火災等の訓練を行った。
 - ・防災館へ行き、係員の指導の下、地震・消火・煙体験を行い、シアターで災害時の避難等学んだ。
 - ・研修への参加、ガイドラインの見直しをした。
 - ・防災訓練：4/18 5/9 6/5 6/14 6/20 6/26 7/26 8/28 9/15 10/19 11/20 12/26
1/22 2/21 3/27

8. 地域との関係

- ①自主生産品販売の作業を通して広域地域（市外も含めた）との連携を模索していく。
 - ・メッツァビレッジや東京駅での販売を行い、施設への理解を深める場に参加することができた。
- ②地域の自治会・懇談会や地元行事等に参加し、地域との連携・交流を図る。
 - ・恩多福祉協力委員定例会や恩多町スポーツイベント等に参加し、地域との交流を行った。
- ③施設の開放行事（夏祭り・炊き出し訓練）への地域参加を働きかけていく。
 - ・コロナの影響もあり、地域の方への参加を呼び掛けることができなかった。

9. 実習生の受け入れ

- ①地域の特別支援学校より実習を受け入れ体験の場を提供し、新規の利用者を獲得する。
- ②大学等の介護等体験実習を受け入れ、障害福祉に理解ある人材を養成する一端を担う。
 - ・特別支援学校の高等部2、3年生の実習生、1年生のインターンシップの受け入れを行った。
 - ・相談支援事業所から紹介を受け実習を行い、将来の利用者獲得に努めた。教員免許取得のための介護等体験では大学生の実習を受け入れることで、将来の人材育成及び障がい理解を広めた。

10. 保護者会等との連携

- ①保護者が施設に対する理解・協力を頂けるよう、年に10回保護者会を開催する。
- ②毎月の予定表（なごみ便り）で施設の近況報告や情報提供を行う。

③保護者参加の行事や個別面談等を通じて、相互理解を深め、家庭との情報共有に努める。

- ・保護者会での近況報告を行うと共に、なごみ便りで保護者会に参加できない保護者に向けて活動の様子をお知らせし、相互理解に努めた。

11. 職員研修

- ①外部研修を積極的に取り入れて、職員の見識を広め、職員の質の向上を図る。
- ②東京都社会福祉協議会他関係機関、民間企業主催の研修会、ウェブ研修等も活用する。
- ③研修部会主催の研修で虐待防止・権利擁護等の知識を習得し、日常支援に活かす。

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
安全衛生推進者養成講習	4月 27, 28日	公益社団法人労務管理教育センター	埼玉会館	黒須 彩子
メンタルヘルスケア研修 (セルフケア)	6月7日	東京都医療福祉事業所内 メンタルヘルスケア研修事務局	なごみの里 ZOOM	鈴木 祥奈
メンタルヘルスケア研修 (ラインケア)	6月27日	東京都医療福祉事業所内 メンタルヘルスケア研修事務局	なごみの里 ZOOM	黒須 彩子
防火・防災管理者	7月 10, 11日	公益財団法人東京防災救急協会 防災事業本部講習事業部講習第1課	立川防災館	福島 卓
救急救命研修	7月6日	なごみの里	なごみの里 1階作業室	黒須・中田・福島・ 島田・国米・金子・ 北田・松本・福山
令和5年度東京都障害者 虐待防止・権利擁護研修	8月24日	公益財団東京都保健福祉財団	なごみの里 ZOOM	福島 卓
ハラスメントのない 職場作り	9月5日	東京都社会福祉協議会	なごみの里 ZOOM	鈴木 祥奈
リスクマネジメント研修	7月28日	東京都福祉人材センター	なごみの里 ZOOM	島田 治樹
社会福祉事業従事者人権 研修Ⅱ	10月16日	東京都福祉局生活福祉部	なごみの里 ZOOM	島田 治樹
食品表示法 法制度・契約書	10月16日	NPO ディーセントワーク・ラボ	なごみの里 ZOOM	鈴木 祥奈
食品衛生講習会	11月8日	多摩小平保健所	なごみの里 WEB	松本・北田
障害者の権利利益の擁護	11月24日	東村山市健康福祉部障害支援課	東村山市役 所北庁舎	福島・松島・林和
虐待防止	1月4日	東京都社会福祉協議会	なごみの里 ZOOM	坂井 律子
社会福祉士実習指導者 講習会	2月 24, 25日	公益財団法人東京社会福祉士会	なごみの里 ZOOM	黒須 彩子
販売ディスプレイ・POP作成 講習会	3月11日	NPO ディーセントワーク・ラボ	KITTE	松本 ちか
利用者の本音を聞き出す 関係づくり	3月29日	東村山市社会福祉協議会	同左	北田 艶子

12. 会議予定

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回/月	施設運営・行事全般

評価会議	2回／年	アセスメントの見直し
給食会議	6回／年	委託業者・他施設との検討会議
ケース会議	2回／月	利用者個々のケース
個別支援計画会議	2回／年	個別支援計画の作成と見直し
自主生産品会議	6回／年	自主生産品

13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

(1) 苦情解決

担当窓口及び第三者委員を設置し、親切丁寧に対応する。

(2) 個人情報保護

情報の重要性を認識し、適切な保護に努める。

(3) 権利擁護・虐待防止・身体拘束の適正化

①人権の擁護、虐待防止等に関する運営委員会に担当職員を配置し、必要な支援体制を整備する。

②身体拘束の対策を検討する委員会を定期的に開催する。

③職員は、虐待防止の啓発・普及、身体拘束の適正化に関する研修を受講する。

・権利擁護や虐待防止に関する研修会などに参加し、職員への意識向上に努めた。

(4) セクシャルハラスメント防止

担当者を配置し、セクシャルハラスメントの防止、対応にあたる。

・各研修を通し職員全体の意識を高めるよう努めた。また、担当窓口を設置し（担当者に限らず）訴えがあった時には丁寧に状況を聞き迅速に対応した。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	黒須 彩子	042-395-5700
担当者	福島 卓	同上
第三者委員	端山 幸子	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	黒須 彩子	042-395-5700
担当者（男性）	島田 治樹	同上
担当者（女性）	中田 奈緒子	同上

虐待防止・身体拘束の適正化

	氏名	連絡先
責任者	黒須 彩子	042-395-5700
担当者	福島 卓	同上